

フォーラム 13:00~17:00 無料

会場 東京国立近代美術館 講堂

東京都千代田区北の丸公園3-1

東京メトロ東西線：竹橋駅 1b 出口より徒歩3分

レセプション 17:20~19:00 会費¥4,000

会場 レストラン アラスカ パレスサイド店

東京都千代田区一ツ橋1-1-1

東京メトロ東西線：竹橋駅 1b 出口より徒歩1分

日本各地に点在するミュージアムは、地域の歴史的・文化的資源を伝え、地域のアイデンティティ確立の場、次世代への伝承や学習の場、そして交流・観光の拠点として整備されてきました。昨今、これらのミュージアムは財政難などを理由に事業縮小の傾向にあります。

私たちは、全国地域の博物館・美術館・資料館・伝承館・交流館・町並み・文化遺産や景観を含めて「地域ミュージアム」と捉え、これらを活かしたまちづくりを研究し、実践していくことを目的に、2011年「全国地域ミュージアム活性化協議会」を設立しました。

この度、「ミュージアムを活かした地域づくり」について論及し、地域ミュージアムが将来にわたって地域に貢献し、真に豊かなまちづくりを皆様と共に考えるため、このフォーラムを開催致します。

地域ミュージアムと まちづくりフォーラム



文化庁文化芸術振興費補助金
(文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業)

PROGRAM

12:30 ~ 受付開始

13:00~13:10 開会あいさつ

植木 浩 氏 (全国地域ミュージアム活性化協議会理事長)

13:10~14:10 基調講演

「美術館が街づくり

～文化が人をつくり、街を変える～」

蓑 豊 氏 (兵庫県立美術館長)

14:10~15:10 基調講演

「食と環境ミュージアム・上勝町」

横石 知二 氏 (株式会社 横石 代表取締役社長)

15:20~17:00 パネルディスカッション

「地域ミュージアムとまちづくり」

《パネリスト》

栗原 祐司 氏 (京都国立博物館副館長)

松木 上次 氏 (萌木の村 代表取締役社長)

金子 徳彦 氏 (古今伝授の里フィールドミュージアム所長)

藤原 洋 氏 (地域博物館活性化実行委員会委員長)

《コーディネーター》

大森 彌 氏 (東京大学 名誉教授)

17:00

閉会

17:20~19:00

レセプション

□主催 地域博物館活性化実行委員会

□後援 日本ミュージアム・マネジメント学会 / 日本展示学会 (申請中) /

全国地域ミュージアム活性化協議会 / NPO法人まちづくりビジネス支援ネットワーク

出演者プロフィール

菫
豊
氏



兵庫県立美術館長／
金沢 21 世紀美術館
特任館長／大阪市立
美術館 名誉館長

1941 年、金沢市生まれ。
1969 年、カナダ・ロイ

ヤルオリエンタリオ博物館東洋部学芸員を務め、ハーバード大学文学博士号取得。その後、カナダ・モントリオール美術館東洋部長、アメリカ・インディアナポリス美術館東洋部長、シカゴ美術館東洋部長を歴任。1996 年、大阪市立美術館館長、2004 年に金沢 21 世紀美術館館長に就任し、翌年より金沢市助役を兼務。2007 年、サザビーズ北米本社副会長に就任。同年、大阪市立美術館名誉館長及び金沢 21 世紀美術館特任館長に就任。2010 年より現職。著書に『ミュージアムパワー』（共著：慶應義塾大学出版会）、『超＜集客力＞革命—人気美術館が知っているお客の呼び方』（角川書店）ほか著書・論文多数。

横
石
知
二
氏



株式会社いるどり
代表取締役社長

1958 年、徳島県生まれ。
1979 年、上勝町農業協
同組合へ入社。16 年連続
して農産物の売り上げを

伸ばす。「彩」を開発し、1991 年特産品開発室長に就任。1996 年、産業情報センターと株式会社いるどりの責任者として特産品の企画販売を行う。2002 年、株式会社いるどりの取締役となり、2009 年、代表取締役社長に就任。2007 年、「News Week (日本版)」世界を変える社会起業家 100 人に選出される。2002 年、アントレプレナー・オブ・ザ・イヤー日本大会特別賞、2005 年、フィランソロピー大賞特別賞など受賞多数。主な著書に『そうだ、葉っぱを売ろう!』『生涯現役社会のつくり方』（ソフトバンククリエイティブ）など。

大
森
彌
氏



東京大学 名誉教授

1940 年、東京生まれ。
東京大学教授、千葉大
学教授、日本行政学会
理事長、自治体学会代
表運営委員、地方分権

推進委員会専門委員、社会保障審議会議長・介護給付費分科会会長などを歴任。地域活性化センター全国地域リーダー養成塾塾長、全国町村会「道州制と町村に関する研究会」座長、NPO 地域ケア政策ネットワーク代表理事。専門は行政学・地方自治論。主な著書に『官のシステム』（東京大学出版会、2006 年）、『変化に挑戦する自治体』（第一法規、2008 年）、『政権交代と自治の潮流』（第一法規、2011 年）など多数。

栗
原
祐
司
氏



京都国立博物館 副館長

1966 年東京生まれ。1989 年文部省入省。文化庁、国土庁、北茨城市教育委員会等勤務を経て、ニューヨーク国際交流ディレクターとしてニューヨーク日本人学校に勤務。全米約 1,600 館のミュージアムを訪問。帰国後、文部科学省大臣官房政策課企画官、生涯学習政策局社会教育課企画官、文化庁文化財部美術学芸課長を経て、2012 年より現職。国内 5,600 館以上のミュージアムを訪問している“ミュージアム・フリーク”。國學院大學大学院非常勤講師、日本ミュージアム・マネジメント学会理事（2008 年 6 月学会賞受賞）、日本展示学会理事。全日本博物館学会役員。

船
木
上
次
氏



萌木の村株式会社 代表取締役社長

幼少の頃より「清里の父」といわれた故ボールラッシュ博士とともに過ごす。1971 年、清里で初めて喫茶店「ロック」開店。1977 年、萌木の村株式会社を設立し、代表取締役社長に就任。オルゴール博物館の開館、フィールドバレエ・コンサート開

催など地域から文化を発信し続けている。2003 年、内閣府・国土交通省「観光カリスマ百選」に認定。2011 年には、“清里フィールドバレエ”心の震災復興プロジェクトを立ち上げ、東日本大震災の被災地の慰問公演を行い、経済産業大臣から表彰を受ける。スペシャルオリンピクス日本・山梨会長、西武文理大学サービス経営学部特命教授など。

金
子
徳
彦
氏



古今伝授の里フィールドミュージアム 所長兼
博物館・資料館統轄

1954 年岐阜県生まれ。岐阜相互銀行を経て大和村役場に就職。1987 年、「古今伝授の里づくり」を提案、町のシンボル事業として採用され、その拠点施設フィールドミュージアムの建設着手から完成、運営までを担当。開園後は現地に赴任し学芸担当として来館者の対応にあたる。2006 年、所長に就任。2009 年より市全域の博物館及び資料館の統轄を兼務する。看板イベント「薪能くるす桜」に当初から参画し、伝統音楽シリーズ「雪雪花コンサート」や「文楽」公演の企画及び新作文楽の制作に係わるなど、文化振興と個性化推進にあたる。

藤
原
洋
氏



地域博物館活性化実行委員会 委員長

1944 年島根県生まれ。1963 年、吉田村役場に入庁。第 3 セクター・株式会社吉田ふるさと村、次いで 1998 年に財団法人鉄の歴史村地域振興事業団を設立し、専務理事に就任。この間、一貫して「鉄の歴史村」づくり事業に取り組む。その後、地域の

未来のための研究機関・株式会社シーズ総合政策研究所を設立。「文化と産業のパートナーシップ」を理念とした地域づくりに取り組んでいる。サントリー文化財団の支援により「市町村合併後のミュージアムと地域活性化」について 3 年間の共同研究を経て、2011 年「全国地域ミュージアム活性化協議会」を設立し、事務局長理事に就任。

【参加申込書】

お名前	ご所属
お電話番号	E-Mail
ご参加内容	・フォーラム（人数： 名） ・レセプション（人数： 名） ※ご参加ご希望に○印をつけてください。

FAX : 0854(74)9057

E-Mail : takaki@csri.jp

【お申込み / お問合せ先】 TEL:0854(74)9058 【地域博物館活性化実行委員会 / 担当:高木・園山】

〒690-2801 島根県雲南市吉田町吉田2621番地

※ 申込締切 3/1(金) 定員になり次第、締め切らせていただきます。